The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	IDUN VII を出すにあたって
Author(s)	岡田, 令子
Citation	IDUN. 1986, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95848
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

IDUN VII を出すにあたって

本年は，私共の大学にデンマーク語学科が設立されてから丁度20周年になります。この記念すべき年に学科誌 IDUN 7号を 皆様にお届けできますことを，学科研究室スタッフ一同たいへんうれしく存じます。

すでに各方面から，7号が欠けているので送付して欲しいとのご依頼を頂いております。実は本誌は隔年刊ですので，前号が出た翌83年は休刊の年でした。続く84年は，いろいろの事情で刊行の運びにいたりませんでしたが，スタッフ3人で『現代デンマーク語 入門』を，さらに 菅原さんは『北欧神話』を出版いたしました。84年はまた，新しく併置されるスウェーデン語課程の準備もあって，ただただ忙しさの中にあたふたと過ぎてしまいました。それに加えて，本誌編集の実務を担当している菅原さんが文部省在外研究員として10月から10か月にわたってアイスランドとデンマークに出張したことも，7号刊行を遅らせることになってしまいました。その上，私が84年の暮れから心ならずも病気がちになるという悪条件が重なり，研究室としては授業を行うほかの余力はありませんでした。

では，続いて学科の様子をお伝えいたしましょう。

一番大きな出来事は，何といいましても，長年の要望がかなって，昨85年4月に前述のスウェーデン語課程が発足したことです（学生定員10名。デンマーク語課程と合わせて1学年25名）。そして学科全体の名称も，「デンマーク・スウェーデン語学科」と改められました。

学科の拡大とともに本年4月に2人の新しい同僚を迎えることができ，スウェーデン語に清水育男講師が，またデンマーク語には新谷俊裕講師が着任しました。清水さんは東京外国語大学の出身で長らくウプサーラ大学で研究を積んでおりました。新谷さんの方は私共の学科を卒業してからコペンハーゲン大学に留学していました。

この足かけ5年間に客員教授の顔ぶれも入れ代わりがありまして，

Henrik Galberg Jacobsen (81—83年), Anne-Mette Ipsen (83—85年), そして昨年4月からは Nina Møller Andersen となっております。次号が刊行される頃にはまた次のデンマーク人と，そして新しくスウェーデン人の客員教授を迎えていることでしょう。

このようなスタッフの増員後は食事時に広い共同研究室を使用しなければならなくなり，大世帯になったことを強く実感させられています。その中には，毎週飛行機で高知から文字通り飛んで来て下さるスウェーデン語講師の Astrid Meier-Wichmann さんも混って，2つの言語が食卓を飛び交います。美しいメロディーで歌うようなスウェーデン語とスピーディーで語尾をのみこむようなデンマーク語を耳にする時，姉妹語とはいえ，その違いに驚かされます。

私たちの食卓ではそれぞれデンマーク語なりスウェーデン語なりを話しておたがいに理解し合っているわけですが，学科の学生たちには前期（1，2年次）で両言語を同時に学習できない制度となっております。といいますのも，デンマーク語とスウェーデン語は隣り同士で似ていそうで似ていないところも数多くあるため，初心者は両言語を混同してしまう恐れがあるからです。それぞれ専攻言語の基礎が固まった後，後期3課程（3，4年次）になって他の1つを学習させる計画です。

次に，学生たちのことですが，従来にも増して多くの者が春，夏，冬の休暇に北欧へ出かけていきます。そして，中にはデンマークの folkehøjskole（いわゆる国民高等学校）に1週間から1か月ほど滞在して，短期間に言語や習慣，生活の雰囲気などを身につけようとする者も少なくありません。加えて，毎年デンマーク政府の奨学金による留学生も1～2名あります。また，昨年からはノルウェーからの奨学金を得る学生も出始め，今年も女子学生がベルゲン大学に留学しました。どうやら，新たな分野の開拓が始まっているようです。

卒業生の中には以前から外務省に入り，北欧各地の在外公館で活躍中のものもありますが，最近もう1人，女性外交官が誕生してフィンランドに

赴任しました。その他，商社，旅行社に勤務して北欧に駐在するなど，大学で学習したものを直接生かすものが増えてきています。

IDUN 7号を刊行するにあたりまして，以上，遅刊のお詫びと学科の近況などをお知らせいたしました。本号は言語，言語教育に関する論文を5編収めておりますが，読者の方々の率直なご批判を願って筆をおきます。

1986年9月4日　　上海にて

大阪外国語大学デンマーク・スウェーデン語学科
教授　岡　田　令　子